

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2022年8月4日時点)

- 露軍は「ウ」東部における地上侵攻及び各地へのミサイル攻撃を、「ウ」軍は南部における反攻を継続している模様
- 「ウ」軍発表の露軍損耗は、人員約4万1500人、戦車1789両、装甲戦闘車4026両、固定翼機223機、ヘリ191機

8月2日、「ウ」軍は、カスピ海上空の露戦略爆撃機から「ウ」に向け8発の空対地巡航ミサイルが発射され、7発を「ウ」防空部隊が撃墜したものの、1発はリヴィウ州内に配備された地対空ミサイルを破壊したと発表

8月2日、「ウ」国営通信は、リヴィウ州チェルヴォノフラードの軍施設がミサイル攻撃を受けたと報道

「ウ」国営通信によれば、7月29日、「ウ」東部ドネツク州(「ドネツク人民共和国」占拠地域)オレニウカの捕虜収容所で爆発が発生し、収容されていた「ウ」国家親衛隊アゾフ連隊の兵士少なくとも50人が死亡。露国防省系メディアは、「ウ」軍のHIMARSによる攻撃であると主張。しかし、商用衛星写真に基づく建物の被害状況から、建物内部に設置された爆発物による破壊との指摘があるほか、「ウ」国防省情報総局は、露民間軍事会社「ワグネル」の戦闘員が捕虜の殺害を実行したとの見解を発表している。

7月31日、露国営通信は、露が違法に「併合」したクリミア半島のセヴァストポリにおける観艦式を含む同日の露海軍記念日行事について、「ウ」軍の攻撃の危険性があるため、中止を決定した旨同市市長が発表したと報道。なお、7月29日付の露国防省系TVは、海軍記念日における露黒海艦隊の観艦式は露南部クラスノダール地方のノヴォロシースクでのみ実施の予定である旨報じていた。

8月1日、「ウ」国営通信は、オデーサ港からレバノン・トリポリ港へ向け、2万6千トンの「ウ」産トウモロコシを積載した貨物船が穀物輸出に係る国際枠組みの初便として出航、ほかに16隻が穀物を積載してオデーサ周辺の港湾に待機中と報道

- 攻撃を受けたと報じられた地点
- ✈️ 攻撃を受けたと報じられた軍施設
- 💣 特に激しい戦闘が行われている地域
- 露軍が占領した地点

国土地理院標準地図を加工



資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ISW等